

住工混在に歯止めを



中石切企業団地

(中石切町7丁目)

(株)板倉不動産

(東大阪市川中3番41号)

近年、東大阪では工場転出跡地に無秩序に住宅開発が進行し、住工双方の環境が悪化。その結果、更に企業転出が促進される。住工混在が問題になっている。

そんな中、(株)板倉不動産は中石切町七丁目に自社独自で企業団地を開発した。

「工場が住宅地に変わり、モノづくりの街々としての魅力が薄れてきている傾向に少しでも歯止めをかけたい」と語る板倉正巳取締役。

「中石切企業団地」と命名されたこの地の開

発は三年前から進められてきた。土地を保持するために擁壁を築いたり、企業団地沿いの道幅を広げるために、一部の土



▲板倉社長

地を買収するなど、住宅開発を防ぐ様々な問題を解決してきた。

敷地面積は一万平方メートル。自動車用ハンドル関係シャ

フト等生産の(株)ハヤシセラをはじめ、オテック(株)・(株)小島鉄工所・(株)リサイクルセンター・エヌ・エイ・ジーが操業を開始した。

団地の中心を通る道路は、車の出入りをスムーズにするために幅一〇メートルと広く作られた。そして、その道路の突き当たりには「我々は住宅地を建てない。またそのための土地も提供しない」との宣言の書かれたモニュメントを建設する予定であるという。

「これからも中小企業に、安心して操業を続けることができる工場用地を提供していきたい」と頼もしい限りだ。